

STYLECREA スタイルクレア

収容力たっぷりのセラーを2台並べ 観音開きにカスタマイズ

「東京ミッドタウン日比谷」は、今年3月29日に東京メトロ日比谷駅に直結してオープンした複合商業施設。その3階の飲食フロアで人気を誇る「礼華 四君子草」は、新宿御苑、青山、ここ日比谷と展開する「礼華」グループ3店舗目の中国料理店だ。

日比谷公園の豊かな緑に面した店内は、カウンター、個室、テーブル席、オープンテラスと、バラエティーに富む全71席。内装は店名のごとく草木をモチーフとし、日本料理店のようになやましい色使いのナチュラルなテイストで、心癒やされる空間だ。

そんな同店のエントランス付近に、違和感なく溶け込んでいる大型ワインセラーが『スタイルクレアSC-171』である。1台で171本という収容力抜群のモデルだが、同店ではさらにこれを2台横並びで設置。加えて、サービスカウンターの下にビルトインする形で、30本収容の『スタイルクレアSC-30』を併用し、3台合わせ計372本のワインをセラー内にストックしている。

提案し、メーカーさんに特注で納品していただきました。ステンレスフレームの見た目がスタイリッシュであること、両開きのため開閉時の所作が美しいこと、棚がスムーズにスライドできる点が非常に気に入っています」と、マネジャーでシニアソムリエの柿沼哲夫氏。

14段のスライドレール式稼働木製棚の動きは非常に滑らかで、ボトルを引き出すのも容易。同店では各171本収容の2台のセラーの左側を赤ワイン用に14℃、右側を泡ものと白ワイン用に8℃に設定して使い分ける。さながら342本の大型セラーのようだ

スタイルクレア SC-171

本体サイズ：W595×D708×H1830mm

収容本数：最大約171本

設定可能温度帯：5～20℃

冷却方式：コンプレッサー方式

扉：ガラス二重扉

棚板：14枚

価格：オープン価格



店舗設計時からセラーの機種と設置場所を決めていたため、放熱スペースを充分とった上で見た目もすっきりと収納。「カウンター席の向かい、個室の隣りという場所に位置しているので、ワインをサーブしている光景をお客様がご覧になりオーダーにもつながっています」と、「礼華 四君子草」マネジャーの柿沼哲夫氏



礼華 四君子草

住所：東京都千代田区有楽町1-1-2

東京ミッドタウン日比谷3F

営業時間：11:30～14:00LO、17:30～21:30LO

TEL：03-6273-3327

定休日：2月、8月の第一水曜日



ワイン王国

THE WINE KINGDOM

2018 November No.107

最前線! 飛びっ切りの ブルゴーニュ

ハレの日に行きたいレストラン コートドール

ロングパートナー ヴィレージ・セラーズ オーストラリア **H** ルーウィン・エステート

現地取材

日本／チリ&アルゼンチン／ポルトガル／イタリア

